

「22・54」若者ワークショップニュース

2026年7月11日(土)に開催した
ワークショップのご報告です。

大分市では、令和8年度に22・54街区の利活用方針を検討することとしています。
利活用方針を作成するにあたり、次代を担う若者の想い、発想、アイデア等を聞き取り、
利活用方針に反映させるため、本ワークショップを開催しました。

「わたしたち軸」で考える 22・54街区

22・54街区を含む「まちなか」で、どのように過ごしたいかを、
4つのグループ(青年経済人、子育て世代、県外出身者・U/Iターン経験者、
大学生)に分かれて、意見を出し合いました。

このような意見がありました

A班：青年経済人グループ

■ 家族と一緒に過ごしたい！

(理由)

- ・子どもと買い物以外に何かをする場所がない。
- ・“そこに行けば、家族と何かができる”“行くと何かある”そんな場所。
- ・多世代(子ども、大人、高齢者)が一緒になって過ごせる場所。

(例えば…)

- ・エスコンフィールドのような、全世代対応型の場所があると良い。
(ホテル、商店街、競技場、温泉、子ども向け施設など)



■ 大人もワクワクしたい！

(理由)

- ・フェス系のイベントが毎週あると良い。
- ・クラスドームまで行くのは遠い。
- ・(飲み会以外に)“大人が”友人と遊べる場所、熱中できるモノ・場所が欲しい。
- ・生活必需品系は揃っている。特別な“時間”“モノ”を消費する場所がない。
- ・毎日イベントをつくると良い。
(パブリックビューイング、ドッグラン、コンサート)
- ・コンサートが駅近くで出来れば、交通渋滞対策にもなる。

(例えば…)

- ・長崎ピーススタジアムのような“都会の象徴”となる施設。
- ・全天候型の格闘技場・サッカー場、シェルターとしても活用可能な施設。

■ ハイクオリティな時間を過ごしたい！

(理由)

- ・クオリティの高いボディメンテナンス(育毛、韓流美容等)が受けられる場所がない。
- ・ハイブランドなもの、お金を持っている人がお金を使える場所がない。
- ・オアシスの地下駐車場が高級車の展示場のようで見応えがある。
- ・行けば、趣味に出会える、趣味が深まる、そんな場所があると良い。

■ 大分らしさを感じたい、紹介したい！

(理由)

- ・県外からの来訪者も楽しめる、接待にも使えるような“大分らしさを感じられる場所”があると良い。(例:エスコンフィールド)

B班：子育て世代グループ

■ 天候に左右されず、子供たちを自由に走り回らせたい！

■ 親子で交流・体験のできる時間を過ごしたい！

■ ゆっくり過ごせる大人時間をつくりたい！

(理由)

- ・近年の酷暑により、夏場は外で遊ぶことが難しい。
- ・雨の日に子供が自由に走り回れる場所が少ない。
- ・子育て世代は、自由な時間が少ない。(遠出せずに過ごせる場所がほしい。)

(例えば…)

子供たちの体験の場

- ・遊び場
- ・交流の場(多世代交流、国際交流)
- ・職場体験ができる場(企業との協賛)
- ・イベントの開催(キッチンカー)

大人のゆとりを作り出す場

- ・託児所付き〇〇
- ・代行〇〇
- ・施設の集約(遊び場、飲食店、託児所…など)
- ・駅から直結すれば雨でも利用しやすい。

※ 臼杵市多世代交流館(のつてらす)のイメージ

(平成26年に廃校となった大分県立野津高校跡地の建物を活用した施設)

※ 子供と移動するとなると、駐車場は必要。



C班：県外出身、U/Iターングループ

■ ふらっと立ち寄りたい！

(理由)

- ・気に入った施設が近くになく、外出している。
- ・目的を持たずに出かけ、一日を過ごしたい。
- ・子供と一緒に過ごせるといい。
- ・まちなかに飲食は充実している。
- ・気軽に体づくり、メンテナンスができるといい。
- ・ストレスフリーな場所がほしい。

(例えば…)

- ・汗をかける場所(本格的なジム)
- ・癒し(セラピー)
- ・楽しみ(遊園地、ボーリング、バッティングセンター)
- ・家族との時間(子供連れ温泉)

■ 刺激を得たい！

(理由)

- ・異文化交流の機会。
- ・体を動かせる場所。一人でもしくはみんなで。
- ・音楽を聴いたり演奏したりする。
- ・24時間 眠らないまち。

(例えば…)

- ・外国人と会える場所(文化教室、パブリックビューイング)
- ・スポーツで楽しみを共有(ゴルフ)
- ・音楽(ライブ、スタジオ、音楽教室)



D班：地元大学生グループ